

【東京】東ト協の各支部では春と秋の点もある。そのため高橋支部長は、支部

東ト協

各地で交通安全運動



渋谷支部

運動の活動では、足立区内の4警察署と協力し、広報車による広報活動を行って



足立支部

【東京】北支部（北澤聰支部長）は9月26日、JR田端駅前やその周辺で、滝野川警察署員と安全協会の協力を得て、交

北支部

交通安全活動を実施しました。参加した支部会員は11人。管轄する滝野川警察署では「最近の事故件数は減少傾向にあるが、死亡事故自体は増えている。特

に交通安

動が必要

楽しみながら防災学ぶ サイショウ・エクスプレス／防災スポーツを開催



ドライバーらが競う様子

この防災スポーツを社内で開催。一輪車障害物競争、毛布担架障害物競争、キャタピラ煙避難競争、物資運搬リレー、防災知識トレーニングの5種目が行われ、ドライバーは災害時を疑似

避難所に届く荷物を想定した箱を効率よく限られたスペースに収納する物資運搬リレーでは、普段から業務で荷積みをするドライバーらによる接戦が繰り広げられた。

参加したドライバーからは、「災害時はもっと重たいもの」を運ぶのではなく、「災害の多い日本で自分と家族を守るために、日常からスポーツを通して災害に備える防災スポーツを、スポーツを通じて災害に備える防災スポーツ」と語った。

（越後桃子）

【北海道】札ト協は9月29日、アリオ札幌でトラックの日の関連事業として、運送業界のことを楽しく学べる体験型授業形式のイベント「トラックのがっこ」を開催した。トランク業界に対する理解・認識・关心を深めてもうつことが目的。

授業のようなコンテンツを多く提供。大勢の市民が参加し、会場は盛況となった。参加した支部会員は11人。管轄する滝野川警察署では「最近の事故件数は減少傾向にけながら、駅利用者によるボルトウェット」配布した。

【東京】スポーツを通じて防災を体験・学習ができる「防災スポーツ」企画コンサルティング会社のシンク（篠田輔社長、千代田区）が提案するのは、だ。阪神・淡路大震災で被災した経験を

持つ篠田社長は、避難所での体験から体力と防災に対する知識の重要性を痛感したという。

その体験を機に、スポーツを通じて防災を学べる防災スポーツの普及を目指すようになつた。

サイショウ・エクスプレス（齋藤敦士社長、江東区）では、防災週間の期間中、この防災スポーツを

大変だろうなど思つた」などの感想が聞かれた。「社会」は、トラック業界に対する理解・認識・关心を深めてもうつことが目的。

札ト協「トニ